

くじらの街 日本一の推進

捕鯨母船「日新丸」の母港化を目指し、国が検討している捕鯨母船の新船建造の誘致に取り組み、鯨食の普及と鯨肉の流通の拡充・拡大を推進します。



主な事業

- ・くじら消費拡大支援事業補助金 (100万円)
- ・全国鯨フォーラム2020 (530万円)
- ・鯨肉給食提供 (570万円)
- ・下関市母港化促進補助金 (1,050万円)
- ・鯨文化を活用した観光推進事業 (200万円)

市街地の賑わい創出

豊かな自然と都市機能を融合させることで、まちの魅力を高めるとともに、さらなる賑わい創出につなげる取り組みを進めます。



主な事業

- ・新たな人通り創出モデル事業 (1,400万円)
- ・市民広場賑わいスポット創出事業 (1,000万円)
- ・火の山地区観光施設再編整備基本構想策定 (1,000万円)
- ・下関港ウォーターフロント開発推進業務 (800万円)



希望の街へ
改革への挑戦

令和 2 年度 下関市

予算

今年度は「令和」という新しい時代にあっても、活力あるまちであり続け、市民の皆さんが夢を語り、希望をかなえることができる「希望の街・下関」を実現するため、「市街地の賑わい創出」「くじらの街 日本一の推進」「若者・子育て世代への支援」「暮らしやすい生活環境・基盤の充実」の4つの重点施策に取り組むとともに、「活力」「賑わい」「優しさ」「安心」の4つの視点で、諸施策を引き続き推進します。

固財政課 (☎231-1160)

4つの視点

賑わい邁進 下関

集客と賑わいを生み出す回遊連鎖を図るため、本市が有する芸術、文化、食、観光、スポーツなどの地域資源を融合した、本市ならではの観光施策を推進します。



主な事業

- ・下関歴史VR探索マップ事業 (600万円)
- ・プロ野球招致業務 (500万円)
- ・外国客船受入環境強化業務 (700万円)
- ・新総合体育館整備事業 (2,800万円)
- ・まちの魅力創出・強化プロジェクト事業 (2,870万円)

活力邁進 下関

本市の強みであるいろいろな地域資源を活かし、地域経済に刺激を与えて、各種産業の活性化や市民生活の豊かさの向上を図ります。



主な事業

- ・重点推進作物産地拡大事業 (3,600万円)
- ・有害鳥獣捕獲強化対策事業 (563万円)
- ・産学官技術開発等連携促進事業 (187万円)
- ・創業支援型地域活性化事業 (1,310万円)

暮らしやすい生活環境・基盤の充実

市民の皆さんの利便性の向上を図り、安全で快適な生活を守るため、新たな生活環境・基盤の充実に取り組みます。



主な事業

- ・バス交通系ICカードシステム導入事業費補助金 (6,000万円)
- ・AI乗合タクシー運行事業 (310万円)
- ・まちなか再生宅地開発補助金 (600万円)
- ・白雲台団地公営住宅等整備事業 (1億8,000万円)

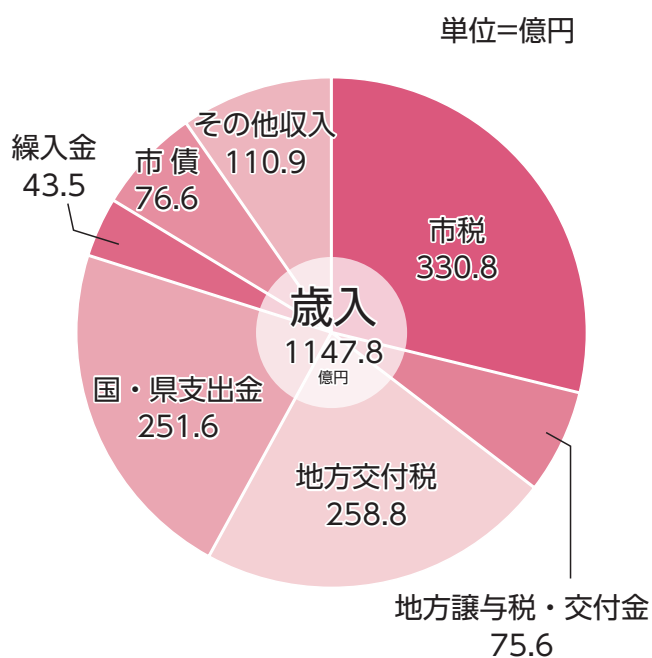
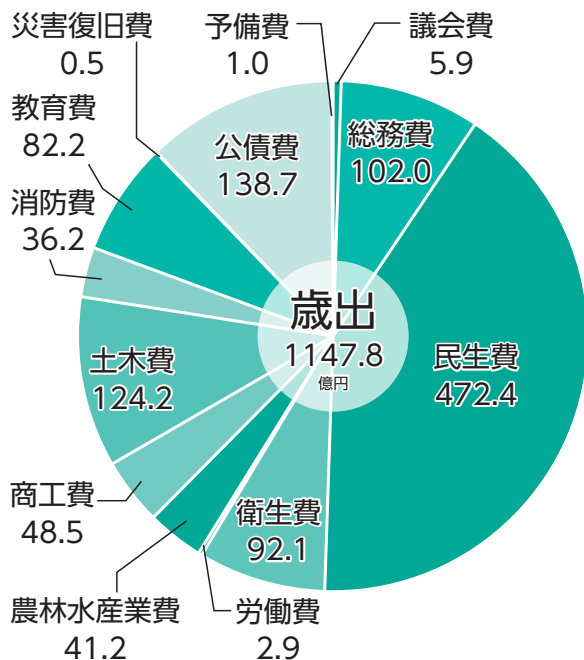
若者・子育て世代への支援

若者世代をターゲットにさらなる定住、移住に向けた就業支援等の取り組みを強化し、医療費助成や子育て支援施策等により子育て世代を強力に支援します。



主な事業

- ・若者の地元就職支援事業 (3,160万円)
- ・乳幼児医療費助成 (4億5,440万円)
- ・新ショート・トワイライトステイ事業 (1,500万円)
- ・放課後児童クラブ整備事業 (6,800万円)
- ・GIGAスクール構想推進事業 (2億円)



安心未来 下関

持続可能な都市基盤整備を進めるとともに、市民生活の安全を守り、快適に安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。



主な事業

- ・防犯カメラ設置事業費補助金 (200万円)
- ・通学路等速度抑制対策事業 (500万円)
- ・消防団救助能力向上資機材緊急整備 (600万円)
- ・洪水ハザードマップ作成業務 (1,650万円)
- ・安岡地区複合施設整備事業 (1,700万円)

優しさ未来 下関

誰もが健やかに安心して生きがいのある生活を送り、活躍できるまちづくりを推進するため、質の高い保健・医療・福祉サービスの確保、教育環境の充実を図ります。

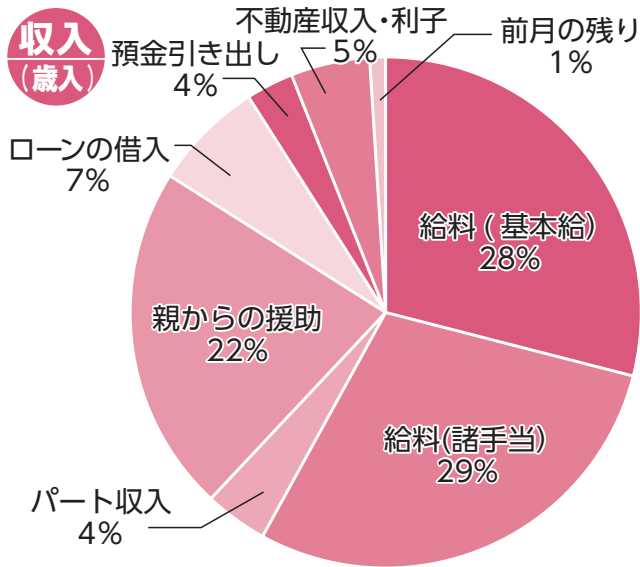


主な事業

- ・成年後見制度利用促進事業 (70万円)
- ・地域医療確保対策業務 (190万円)
- ・特別支援教育推進 (1億4,624万円)
- ・プログラミング教育推進 (100万円)

家計に例えると

令和2年度の一般会計歳入歳出予算額を、市の人口(260,211人／令和2年2月29日現在)で割ってみました。



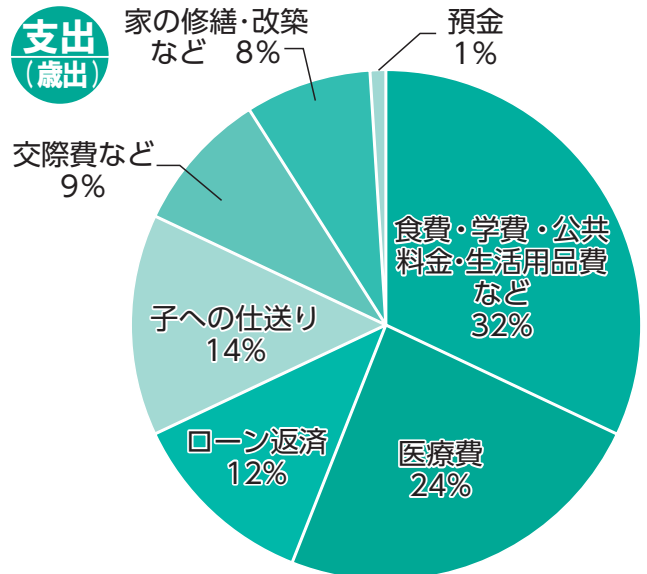
前年に比べて、消費税の税率引き上げによる地方消費税交付金の増などにより、諸手当が増え、幼児教育・保育園の無償化により、親からの援助が増えています。

名称	令和元年度	令和2年度	割合
給与(基本給)	12万7千円	12万7千円	28%
給与(諸手当)	12万5千円	12万9千円	29%
パート収入	1万8千円	1万6千円	4%
親からの援助	9万5千円	9万7千円	22%
ローンの借入	3万4千円	2万9千円	7%
預金引き出し	1万3千円	1万7千円	4%
不動産収入・利子	2万3千円	2万4千円	5%
前月の残り	2千円	2千円	1%
合計	43万7千円	44万1千円	100%

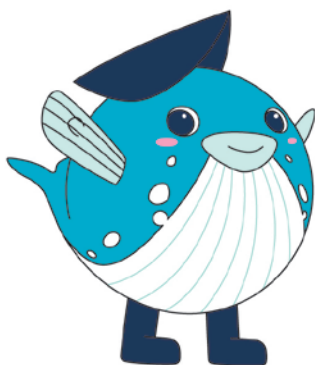
給与(基本給) = 市税
 給与(諸手当) = 各種交付金・地方交付税
 パート収入 = 使用料・手数料など
 親からの援助 = 国・県支出金
 ローンの借入 = 市債
 預金引き出し = 繰入金
 不動産収入・利子 = 財産収入など
 前月の残り = 繰越金

名称	令和元年度	令和2年度	割合
食費・学費・公共料金・生活用品費など	13万5千円	14万1千円	32%
医療費	10万7千円	10万7千円	24%
ローン返済	5万3千円	5万3千円	12%
子への仕送り	6万円	6万1千円	14%
交際費など	4万円	4万円	9%
家の修繕・改築など	4万円	3万3千円	8%
預金	2千円	6千円	1%
合計	43万7千円	44万1千円	100%

食費・学費・公共料金・生活用品費など
 = 人件費・物件費
 医療費 = 扶助費
 ローン返済 = 公債費
 子への仕送り = 繰出金
 交際費など = 補助費など
 家の修繕・改築など = 投資的経費
 預金 = 積立金



前年に比べて、会計年度任用職員制度の開始に伴い、食費等が増え、本庁舎整備事業など家の修繕・改築などの費用が減少しています。



歳出の1,147億円を市民1人あたりに換算すると44万1千円になります。

ボートレース事業収入の活用

市では財源確保対策や、事業見直しに取り組んでいますが、市で運営しているボートレース下関の収益の一部を、一般会計の基金に積み立ててきました。

令和2年度は、「まちのにぎわいの創出・まちづくりの推進」「産業・観光・文化の活性化」「子ども・子育て環境の整備」「学習・教育環境の充実」の4つの分野、35事業に基金(11億3,500万円)を充当しました。 ※()は充当額

BOAT RACE 下関

子ども・子育て環境の整備

事業費計8億6,417万円 基金充当5億9,300万円



主な事業

こども発達センター診療所補助金 (1,500万円)
子育て支援フロア運営業務 (500万円)
子どもの未来応援事業 (200万円)
新ショート・トワイライトステイ事業 (600万円)
乳幼児医療費助成 (2億8,900万円)

まちのにぎわいの創出・まちづくりの推進

事業費計1億4,040万円 基金充当1億900万円



主な事業

しも下まちアプリ導入 (1,000万円)
安岡地区複合施設整備事業 (1,500万円)
まちなか再生宅地開発補助金 (500万円)
バス交通ICカードシステム導入事業 (5,000万円)
新総合体育館整備事業 (2,400万円)

学習・教育環境の充実

事業費計3億4,746万円 基金充当3億4,200万円



主な事業

学校給食設備機器更新 (3,100万円)
小・中学校特別支援教育支援員配置 (3,000万円)
小・中学校メンテナンス推進 (2,000万円)
小・中学校洋式トイレ整備事業 (3,500万円)
菊川中学校体育館建替事業 (1,200万円)

産業・観光・文化の活性化

事業費計1億650万円 基金充当9,100万円



主な事業

次世代継承型地域営農推進事業 (400万円)
くじらの街下関推進事業 (2,000万円)
下関歴史VR探索マップ事業 (500万円)
火の山地区観光施設再編整備基本構想策定 (900万円)
プロ野球招致業務 (400万円)